



「ロサ・オリエンティス」シリーズの木村さんのこの秋の発表品種は、藤色系のシュラブ。花名は「青空」を意味する「ル シエル ブルー」中輪で四季咲き。細めの枝先に房咲きに花を付ける

品種によって違う、 良い花が咲くようになる年月

木が充実して良い花が咲くようになるまでの年月は、品種によっても違う。「例えば同じフランスのバラでも、「ビエール ドゥ ロンサール」や「ナエマ」は1年で良い花が咲くようになりますが、「イヴ ピアッチェ」は株が充実しないうちはポールになって良い花が咲かず、株姿が整って立派な花が咲くまで約3年かかります」(木村さん)。



ビエールドゥロンサール



ナエマ



イヴ ピアッチェ

バラを‘木’として じっくり育てる

～菌体資材を有効活用

木村卓功さん(バラの家)

木村卓功さんはローズクリエイター(育種家)であると同時に、ネット通販と実店舗のバラ苗販売で、わが国バラ小売りの最大規模を誇る「バラの家」の店長でもある。木村さんに、バラ栽培の考え方や、園芸資材、特に菌体資材を活用した、栽培の楽しみを語ってもらった。

撮影協力:バラの家



「バラは‘木’です。じっくりと育てて長く楽しんでほしい。木村卓功さんのバラ栽培の考え方は、木村さんはバラの家から苗を提供するにあたりベテランから初心者まで幅広い層との栽培相談を行っているが、その中で一貫して、バラを長く楽しむ方法をアドバイスしている。

「大苗を植え付けた後すぐ花を見ようとして、一番花の蕾は取って木を充実させましょう。2番花以降に良い花が咲きます」「新苗は深く切らず、蕾は秋まで取って木の生長を促しましょう。いずれも、まず木を根着かせて、株を充実させるための方法だ。「木姿が整って、硬くしっかり」として

いて、節間も詰まった充実した株。そのような株には花がたくさん咲き、花色も良くなります」と木村さんは言う。

植え付ける土も大事だ。「土は、バラの根が生長する環境。その環境を整えることが大切です」。まず土に有機物がバランス良く配合されていて透水性と保水性、保肥性もあって根が伸びやすい環境をつくる。そして有機肥料を使えばゆっくりと効いて木がしっかりと育つ。「その有機物や有機質肥料を、有用菌が分解してはじめて、バラの根が栄養分を吸収することができず」(木村さん)。

土壌中には無数の菌がいて、有用菌もあれば腐敗を進める悪い菌もいる。そこで役立つのが、有用菌を使った菌体資材だ。光合成細菌を使った「菌の黒汁ローゼズ」もその一つ。土壌中の有機物をすみやかに分解し、土がふかふかに。また、窒素分を大気中から土中に取り込み、植物の生育に必要なアミノ酸を生成し、植物の生長を助ける。「有機質肥料を使う方は、「菌の黒汁」を補助的に一緒に使った方がよいでしょう。生長期は月に一回有機質肥料を与え、そのときに一緒に与えます。そうやって続けていくと2〜3年以上のスパンでバラは右肩上がりの生育をみせて、花がたくさん咲くようになります」。

資材を試して植物の変化する姿をしっかりと見る。新芽の伸び方、葉の色艶。「バラの株の変化を見ながら、足し算引き算をして資材をいろいろ試してみる。すると次第に自分に合ったやり方が見つかります。自分はいくらやっついたら育つ」という方法を見つけること。それもまた、バラを育てる楽しみの一つです」と木村さんは語っている。



バラ用 土壌改良・生長促進剤
きのくろじゅ
菌の黒汁 ローゼズ

バラの生長促進を目的とし、土中に善玉菌(光合成細菌)を増やすための資材。与えることによって土壌中の有用微生物の増加を助け、有機物をすみやかに分解するので、土がふかふかに。また、窒素分を大気中から土中に取り込み、植物の生育に必要なアミノ酸を生成し、植物の生長を助ける。褐色の液体で、原料は水、牛糞、光合成細菌。完全発酵しているので無臭でガスも出ない。肌に触れても大丈夫。500ml 1,980円(税込)

使い方 植え付け～秋の開花後まで500倍液を

「菌の黒汁」は、植え付け時から秋の開花前まで、どの時期からでも使用できる。量は原液を水で500倍にうすめて、ジョウロで鉢や庭植えのバラの株元へ与えるか、葉面散布する。回数は1〜2週間に一度、1坪あたり1〜2ℓが目安。多少多くても植物に対する影響は無く、野菜や樹木、草花にも使える。たい肥や米ぬか、油かす等有機物との併用が効果的。肥料成分が微量なので、肥料は別に与える。殺菌剤との混用は避ける。

使い方のコツ

木村卓功さんが
アドバイス

●月に一回、カレンダーをめぐったら有機質肥料を与え、そのときに一緒に「菌の黒汁」を与えます。
●梅雨時や秋の長雨時など日照が不足するとき、また日陰になりやすい場所でバラを栽培する場合などにも使くと、光合成促進に役立ちます。葉面散布をすると、より早く効果的です。



「菌の黒汁」は葉面散布も効果的



木村店長プロデュースのバラの家オリジナル、国産天然素材100%の培養土。バラの鉢植えにそのまま使える。「バラの家培養土」14ℓ(写真中・緑のラベル)は、赤玉土小粒をベースに、牛ふん、馬ふん堆肥、もみ殻堆肥、くん炭、そば殻堆肥はかを配合。楽天市場店でのベストセラー。「バラの家 薔薇の土」15ℓ(写真右・赤のラベル)は、赤玉土小粒、牛ふん、腐葉土、鹿沼土ほかを配合。より排水性を良くして水やりが多い場合、大鉢植えする場合に向く



ガーデン資材売り場も充実。さまざまな活力資材とともに、「菌の黒汁」が並ぶ

バラの家

実店舗 〒345-0024 埼玉県北葛飾郡杉戸町堤根4425-1
Tel.0480-35-1187 Fax.0480-34-9938
9:30~17:00 月曜定休
URL <http://baranoie.web.fc2.com/>
スタッフブログ
<http://baranoiestaff.blog.fc2.com/>
楽天市場店 <http://www.rakuten.co.jp/baranoie/>
Tel.0480-35-2668 (10:00~16:00 土日祝日休)



バラ苗約2,000品種と資材を取り扱うバラ専門店。ネット通販の「楽天市場店」も含めて、年間10万本のバラ苗を販売。すべて自社の培養土で植え付けて提供。2012年春から実店舗を一層充実させ、より苗が買やすいように。園芸・ガーデン資材、ガーデンファッションや雑貨も揃えている。発酵食を中心とした発酵食がメインのカフェレストラン「椀まつり」もある。なお毎週日曜日(8月除く)には無料栽培セミナー「バラ塾」を行っている

